

プロジェクト及び事業・活動

A 「農」を基盤とした持続可能な里づくりプロジェクト

農産物直売所(マルシェ)の整備拡充事業
令和3年に立ち上げたマルシェの利用が伸びており一層の事業展開を図り地域内での経済循環を促進する。

農産物加工スタートアップ支援事業
マルシェ会員を中心に農産物加工チームを立ち上げ、試作～販売を手がけ、地域内での取組に普及する。

『まるごと野菜』体験・交流事業
農作物(特に野菜)の栽培・収穫・加工・販売・堆肥づくり等一連の過程を小学生や地区内外の希望者とともに体験・交流する。

「空き家+有休農地」 活用の滞在・交流促進事業

地区内の利用できる空き家・有休農地を調査・把握・リスト化して農業体験や移住等の希望者の利用に供する。

新規就農(希望)者活動支援事業

新規就農(希望)者への情報提供や情報交換の場を設ける等活动を支援する。

B 雄国山麓の魅力を活かした憩いと癒しの里づくりプロジェクト

自然ふれあい拠点整備・活用事業
桜の名所で自然体験活動の場となっている南原堤の環境整備を図り、更なる自然観察・体験活動を展開する。

雄国山麓の「お宝」掘り起こし事業
雄国山麓の自然資源を改めて確認・調査し、新たな魅力を付加、活用し供する。

「ふらっと」里巡り環境整備事業
個人や団体が駒形の里山の魅力を、安全・安心に巡って堪能するために、見どころの整備や情報発信を行う。

「カントリーウォーク」事業
自然その他駒形の魅力を丸ごと体感するウォーキングを実施する。(各プロジェクトと連携)

花で彩る里づくり事業
駒形の里にふさわしい花木の保護・育成、有休農地等も活用した新たな植栽等を進める。

レクリエーション等の新たな交流
活動拠点の整備検討
里地・里山の立地を活かし地区内外の人々が憩い・交流・活動できる拠点づくりについて情報収集・調査・検討等を進める。

C 歴史・文化・産業遺産を後世につなぐ里づくりプロジェクト

『まるごと駒形ミュージアム構想(歴史・文化編)』

「ふらっと」里巡り環境整備事業
寺社・古墳・館・石碑・塚・美術品・工芸品・工房・ガーデン等・祭り等の歴史的・文化的な資源を再確認し、個人や団体での見学・体験等に活用するための環境整備と情報発信を行う。

「カントリーウォーク」事業
歴史・文化的な資源を組み入れたコースを設定してウォーキングを実施

『悠久の駒形!』学習・発信・伝承事業

駒形地区の歴史・文化等を継続して学習し、対外的な発言や後世につなぐ伝承活動を進めるとともに、新たな文化の創造につながる活動を展開する。

D 共に支え合う安全安心な里づくりプロジェクト

「駒形げんきお助け隊」事業
高齢者等の日常生活での困りごとについて『お助け隊』に登録された身近な方々が「ちょっとした手助け」を有償ボランティア活動として行う。

「ちょっと一口」お届け事業
高齢者世帯等への支援として、小学校とも連携し、地元食材等を使った手作り弁当等にメッセージを添えて配達し、生活状況などの把握も行う。

「いきいきサロンの輪」づくり事業
集落のいきいきサロンづくりとその活動を継続して支援するとともに、元氣会の新館を新たなサロン活動の拠点として充実を図る。

「お茶の間保健室」事業
新館を利用し、健康づくりサポートチームを中心に健康相談や介護の悩みの相談などに気軽に対応する。

「みんなで子育て応援隊」事業
新館を利用し、子と親や祖父母等が集い楽しく交流する。

「げんき・キッズ塾」事業
子どもたちが自由に立ち寄れる場として新館を利用してもらうとともに、特に他ではできない学習や習い事等の活動をボランティアの講師により支援する。

α 活動支援共通プログラム

情報収集・学習リサーチ育成活動	先進事例調査や有識者による講演会・学習会の開催などを実施する
情報発信活動	SNSを効果的に利用した情報発信に努める。
IT化対応活動	関連企業等の支援・協力を得てICT(情報通信技術)活用の可能性を探る。
交流・活動拠点の整備・充実	こまがた元氣館等の活動拠点としての機能整備

こまがた元氣プラン

～みんなでつなごう未来へ“悠久の里・駒形”～

住みよく元氣な「こまがた」の創造
～田舎暮らしはステータス～



(喜多方市指定天然記念物「杓子ヶ入メクスリノキ」を背に駒形小学校の子どもたち)

こまがた元氣会

こまがた元気会の活動とは？

地域資源を活かし課題に対応して少しでも駒形地区を元気にしようと令和元年7月から活動しています。
令和2年度には喜多方市の支援を受け「こまがた元気ビジョン」を策定しました。

その前に

元気会の考える
スローガン

住みよく元気な
「こまがた」の創造
～田舎暮らしはステータス～

4つの柱を
基盤に活動



活動内容

交流・活動拠点「こまがた元気館」、農産物直売所「こまがた元気マルシェ」の開設、「会津の八百比丘尼さま」絵本の作成配布、集落のいきいきサロンづくりと健康づくりサポートチームによる健康相談活動、「こまがた元気会だより」「駒形健康づくり通信」の発行等による広報活動など

こまがたを新プランで明るく元気な里に！

元気会が考える新プランとは？

ビジョンの進化（深化）を図るため、4つの柱ごとに今後3年間（令和6～8年度）に重点的に取り組む事業・活動を4プロジェクトとして取りまとめ、併せて交流・活動拠点の機能強化、情報収集や発信、IT化対応など各取組を支援する共通プログラムを取りまとめています。

A・「農」基盤プロジェクト

B・雄国山麓プロジェクト

C・歴史・文化等プロジェクト

D・支え合いプロジェクト

α・共通プロジェクト

※プロジェクトの内容は裏面に表記

新プランの推進を図る

少子高齢化、人口減少が続く中、当面はその状況に対応しながら反転攻勢を窺うことになると考えられます。

そのためには行政(国・県・市)の基盤となる施策展開に呼応して、駒形地区としても地域特性を踏まえた自主的な取組を進めることが求められます。

これまでの取組成果を踏まえ、さらには次のような視点に立って、各方面との連携・協働を一層強めながら新プランの推進を図ってまいります。

新たな視点

様々な連携・協働
～支え・つながり・変える！駒形～



コミュニティビジネス
コミュニティサービスの展開



みんなでつなごう未来へ！『悠久の里・駒形』



A

B

C

D

α

《令和5年度》
こまがた元気
プラン策定

《令和6年度～令和8年度》
こまがた元気ビジョンの進化
深化のさまざまな事業・活動

住みよく元気な
「こまがた」の創造